

広報

大槌

広報おおつち NO.564

歩み出した「ふるさと科」
「木工の町」から新猷花台
「ひょうたん島日記」

8

2013. 8. 5

目次

表紙の写真：吉里吉里中学校の郷土芸能発表会

3 「木工の町」から新献花台	15 保健だより
4-5 歩み出した「ふるさと科」	16 3年目の仮設 ～より良き暮らしのために～ 町長随想
6-7 災害公営住宅の内覧会を行います	17 PHOTO まちかど 大槌町カレンダー
8-9 災害公営住宅の2次募集を行います	18-19 ひょうたん島日記
10-11 大槌町独自支援事業を実施します	20-21 教育委員会だより 城山の風 第66号
12-13 都市整備課からのお知らせ ほか	22-23 まちのお知らせ
14 大槌町地域包括支援センターのページ 楽笑高齢者になろう	24 大槌学のすゝめ 編集後記



大槌町旧役場庁舎前に設けられた新しい献花台

東日本大震災から2年4カ月となる月命日の7月11日、震災遺構として一部を保存する方針が決まっている大槌町の旧役場庁舎前に新しい献花台ができました。秋田県五城目町の町民有志が地元産のケヤキ材で造り、奇贈しました。五城目町と大槌町は、震災時、旧浪板観光ホテルに宿泊していた五城目町のお年寄りたちをホテル従業員が的確な誘導で救ったことが縁で、交流が続いています。新献花台で両町の絆は一層、強まりました。

「木工の町」から新献花台 秋田県五城目町と大槌を結ぶ絆

大槌町では、当時の町長以下職員40人が犠牲になった旧役場庁舎が慰霊の場になり、献花に訪れる人の姿は絶え間なく続いています。古い献花台は折り畳み式の簡素な事務机で、雨さらしの状態でした。献花台を週2回清掃している上野ヒデさん(71)から、「全国から訪れた人たちを、きちんとした献花台で迎えたい」と伝え聞いた五城目町側で、町物産協会会長の佐々木広志さん(75)らが献花台製作へと動ききました。

新献花台は高さ70センチ、幅1・5メートル、奥行き90センチ。新たに賽銭箱も設置されました。五城目町は「木工の町」として知られ、家具、建具の職人がそろっています。1カ月ほどかけて仕上げ、30万円ほどの費用は、町物産協会が負担しました。上野さんらは、献花台や供え物を風雨から守ろうと、屋根付の囲いをつくりました。

7月11日は、あいにくの小雨模様の中、

定点観測 (2013年7月20日、大槌町の城山から)



献花台前で除幕式があり、上野さんはこうあいさつしました。「立派な献花台がありがとう。気持ちよく手を合わせる事ができます。役場で犠牲になった方々に顔向けできます」。五城目町から訪れた10人の町民の方々は、大槌町の遺族や老人クラブ、婦人会の人たちとともに合掌しました。

上野さんは、夫の強三さん(当時69)と、一人娘の町役場職員芳子さん(当時33)を亡くしました。強三さんは自宅で、芳子さんは役場で、それぞれ亡くなったと見られています。上野さんは「旧役場庁舎には、町内外を問わず多くの人たちが訪れており、鎮魂の場になってほしい」と話しています。住民有志で、「大槌町の献花台を見守る会」(仮称)をつくり、活動していくことにしています。

除幕式に参加した五城目町物産協会の佐々木さんは「皆さんに喜んでもらってうれしい。五城目町にとっては恩返しのもりです」と話していました。

大槌町と五城目町は、震災で絆ができました。

2011年3月11日。五城目町のお年寄り一行43人は、旅先の浪板観光ホテルに宿泊し、大衆演劇一座の芝居を鑑賞して、いて大きな揺れに襲われました。全員が、従業員に誘導され、着の身着のまま避難を始めました。

海面から高さ20メートルほどの駐車場が避難場所になりました。しかし、津波はホテルの2階部分までを水没させて迫ってきました。駐車場は安全地帯では

なくなりまし。全員が国道45号を横切り、JR山田線の線路により登り、さらにその上の山道をめざしました。このころ、ホテルの社長や料理長は逃げ遅れて犠牲になりました。料理長を助け出そうとした消防団員3人も殉職しました。

お年寄りの一行は、吉里吉里4丁目の町内会が管理する「若葉会館」に落ち着きました。2晩をそこで過ごし、13日の早朝に秋田に向けて帰路につきました。「全責無事」の知らせが地元へ届いたのは、この日の午前10時ごろでした。「ホテルは社長以下、犠牲者を出しながら、全員の命を守ってくれた。このご恩を忘れてはいけない」

五城目町からの「恩返し」が始まりました。

全員が帰還してから3日後、あきたこまち240キロや衣類などの救援物資が大槌町に届けられました。5月に入り、街頭募金で集められた164万円の義援金が贈られました。五城目町の老人クラブが浪板観光ホテルの従業員を招き、交流会も企画されました。一周忌を迎えて灯籠つくりが五城目町をあげて行われ、2300個が大槌町に届けられました。

2012年5月には、大槌町と五城目町の中間地点の花巻市に、両町の共同物産店「結海」ができました。太平洋に面した大槌町、日本海に近い五城目町。互いに隔たつてはいますが、店の名には友情の絆を結び、強め合つていこうという意味が込められています。

歩み出した

「ふるさと科」

吉里吉里中で挑んだ郷土芸能

「ふるさと科」。大槌町内の小、中学校で、全国に例を見ない取り組みが進んでいます。子どもたちに、震災で失われた郷土を見つめ直してもらい、復興への力にしたい。2015年4月に完全導入される小中一貫教育の柱になります。正式科目になるのは、この年からですが、学校と地域が協力し合いながら、すでに、様々な試みが始まっています。

大槌町の吉里吉里中学校（柳田正人校長）で7月10日、郷土芸能発表会がありました。地元で伝わる吉里吉里鹿子踊、吉里吉里大神楽、吉里吉里虎舞が、全校生徒たちにより上演されました。大槌町内の小中学校で2015年度から導入される「ふるさと科」の一環です。

大槌町の吉里吉里中学校（柳田正人校長）で7月10日、郷土芸能発表会がありました。鹿子踊は、赤と青の衣装が色鮮やかでした。神楽は、神楽衆による軽快な手踊りが人目をひきました。虎舞は、舞台狭しと暴れまわる虎の勇壮さが印象的でした。

吉里吉里中学校の生徒は1年生18人、2年生23人、3年生29人の70人。全員が鹿子踊、神楽、虎舞のいずれかの演舞に参加しました。発表会では上演に先立ち、それぞれの郷土芸能の由来が発表されました。例えば、虎舞は、江戸時代の豪商・前川善兵衛が、江戸で大流行していた近松門左衛門の浄瑠璃「国姓爺合戦」にヒントを得て始めたと言われていたり、

発表会は昨年からは始まり、今年は2回目。5月末から毎週金曜日の5、6時目を稽古に当ててきました。授業では地区の人たちが指導し、3年生が下級生に教え、技を高め合ってきました。鹿子踊も、神楽も、虎舞も、古くから

「散らし囃子」「通り舞」「庭使い」などの演目があることが説明されました。調査結果が発表された後、鹿子踊、神

吉里小学校の5、6年生が発表会を鑑賞しました。演舞が終わると、3人の小学生が感想を発表しました。「虎舞が迫力ある踊りで素晴らしい」「自分も中学生になったら稽古したい」

地元で継承され、吉里吉里にある天照御祖神社の例大祭の際に奉納されてきた舞です。親から長男に伝えられる「長子相伝」により継承されてきた時代もありましたが、少子高齢化が進み、後継者難に直面しています。吉里吉里中学校でも、最多の時に120人ほどいた生徒が、現在は70人に落ち込んでいます。発表会は、中学校の生徒たちに郷土芸能に親しんでもらい、保存、継承し続けていこうという地元の人たちの思いと、

その取り組みを「ふるさと科」の実践例にしようという学校側の思いが一つとなつて実現しました。2013年度から試行期間に歩み出した「ふるさと科」は、郷土の歴史や文化への理解を深め、郷土愛や生きる力を育もうというねらいがあります。さらに、防災への理解を深め、災害時の判断力、実践力を育てます。大槌町を訪れていた下村博文・文部科学相は発表会を鑑賞し、こうあいさつし



吉里吉里虎舞

2015年度に 小中一貫完全導入

東日本大震災により大槌町の教育環境は激変しました。他市町村への転入に伴う児童・生徒数減。仮設設置住宅からの通学。大槌小、安渡小、赤浜小、大槌北小の旧4校が統合し、2013年4月からスタートした新生大槌小も、大槌中も、

仮設の校舎です。大槌町は、震災後の厳しい教育環境を小中一貫教育で乗り切ろうとしています。小中一貫教育では、9年間を「ホップ期」（1～4年生）、「ステップ期」（5～7年生）、「ジャンプ期」（8、9年生）の3段階に分けます。小学校から中学校に移行する際の段差を低くし、「中1ギャップ」の解消をめざします。「中1ギャップ」とは、小学校から中学校に進学する時に、学習内容や生活のリズムの変化になじめず、いじめが増えたり、不登校になったりするケースを指します。

また9年間を通して、一貫したカリキュラムを組むことができたり、学習や体力向上に向けて継続して取り組むことができたります。また、大槌町内の小、中学校は、現在、大槌小、吉里小、大槌中、吉里吉里中の4校があります。



上は吉里吉里鹿子踊、下は吉里吉里大神楽

町の小中学校再編スケジュールでは、2013年4月から小中一貫教育への試行期間が始まり、2015年度に完全導入がはかられます。具体的には、2015年4月から、大槌小と大槌中は小中一貫教育校「おおつち



郷土芸能発表会の最後に感想を述べる吉里吉里小学校の児童

学園（仮称）」となり、吉里吉里小と吉里吉里中は「きりきり学園（仮称）」となる予定です。いずれも9学年制の学校です。「おおつち学園」は現在の小中学校の校舎が一つになる「施設一体型」の小中一貫教育校で、「きりきり学園」は、現在の小中学校の校舎をそのまま利用する「施設分離型」の小中一貫教育校になる予定です。2013年度から試行期間が始まり、多くの試みがなされています。7月10日の吉里吉里中学校の郷土芸能発表会は、「ふるさと科」の一環です。6月11日に行われた大槌小と大槌中との合同避難訓練も、小中一貫教育に向けた取り組みです。訓練では、中学校の生徒が小学校の児童の手を引いて避難しました。また、2013年度4月の人事異動から、大槌小と大槌中、吉里吉里小と吉里吉里中の教諭は兼務で発令されたり、小学校の理科や英語の授業で、中学校の教諭が教えたりする試みが進んでいます。

大槌町教育委員会教育長

伊藤 正治氏（64）



安渡地区出身。ワシントン日本語学校の校長を務めた後、小槌小、大槌北小、大槌小、大槌中の順で、校長を歴任。2008年4月に教育長に就任、2期目。「ワシントン」では地域の人たちが一緒に教育計画が作られ、運営されている点が印象的でした。日本では、ややおすれば、教育はプロ集団に任せている、学校に子供を預けている、といった感覚があるのではないのでしょうか。小中一貫教育では、地域に開かれ、地域の人たちと共に生きていく学校をめざします。

「防災教育を重視しますが、東日本大震災前の大槌の歴史、伝統、自然、経済を学び、継承していこうとする子供たちを育てます。賢く、明るく、たくましいだけでなく、まちづくりに関わる生き方が求められています。学校教育もその使命を負わなければなりません。津波で多くのものを失ったけれど、先達たちが営々と築いてきた歴史、文化、伝統がある。『ふるさと科』では、その精神風土を学び、未来に、つなぐ役割を期待しています」

災害公営住宅の内覧会を行います

- ・大ケ口地区災害公営住宅（大ケロー丁目町営住宅）
- ・吉里吉里地区災害公営住宅（吉里吉里町営住宅）の内覧会を行います。

本住宅へ入居される人に限らず、どなたでもご覧いただけます。今後整備される災害公営住宅への入居を検討されている人も、この機会にぜひご覧ください。

■開催日 **平成 25 年 8 月 17 日（土）・18 日（日） 2 日間**

■時 間 **10：00～15：00 内覧終了（両日共）**

（受付終了時間は 14：30 です）

※事前予約の必要はありません。直接会場にお越しください。受付にて資料配布などを行いますので、必ずお立ち寄りください。

■建物概要

- ・大ケ口地区災害公営住宅：木造長屋 1～2 階建 70 戸
- ・吉里吉里地区災害公営住宅：鉄筋コンクリート造共同住宅 5 階建 エレベーター付 34 戸

■内覧できる住戸

工事中につき、一部の住戸のみの内覧となります。入居が決まっている人も、ご自身の住戸を見ることはできません。ご覧いただく住戸は、工事の進捗状況により当日ご案内いたします。

■駐 車 場

住宅内の駐車場は、工事中のため使用できません。会場案内に記載の駐車場をご利用いただくか、町役場駐車場をご利用のうえ、送迎バスでお越しください。指定した駐車場以外の住宅周辺の公道などへの路上駐車や他の施設などへの駐車は、周囲の迷惑となりますので絶対にお止めください。駐車場内での事故などについては、町では一切責任を負いません。

■各災害公営住宅～町役場間送迎バス（無料）

各災害公営住宅と町役場の間で送迎バスを運行します。事前の申し込みは必要ありませんが、満席の場合には次の便をお待ちいただくこともありますのでご了承ください。

送迎バス時刻予定表

●大ケ口地区災害公営住宅方面

	町役場 (玄関前)	大ケ口地区災害公営住宅				町役場 (玄関前)
		(駐車場)	(受付前)	(駐車場)		
午前	9：45 →	9：55	10：00	10：05 →	10：15	
	10：15 →	10：25	10：30	10：35 →	10：45	
	以後、30分間隔					
	11：45 →	11：55	12：00	12：05 →	12：15	
午後	1：00 →	1：10	1：15	1：20 →	1：30	
	1：30 →	1：40	1：45	1：50 →	2：00	
	2：00 →	2：10	2：15	2：20 →	2：30	
	2：30 →	2：40	2：45	2：50 →	3：00	
	3：00 →	3：10	3：15	3：20 →	3：30	

●吉里吉里地区災害公営住宅方面

	町役場 (玄関前)	吉里吉里地区災害公営住宅(受付前)		町役場 (玄関前)
午前	9：45 →	10：00	→	10：15
	10：15 →	10：30	→	10：45
	以後、30分間隔			
	11：45 →	12：00	→	12：15
午後	1：00 →	1：15	→	1：30
	1：30 →	1：45	→	2：00
	2：00 →	2：15	→	2：30
	2：30 →	2：45	→	3：00
	3：00 →	3：15	→	3：30

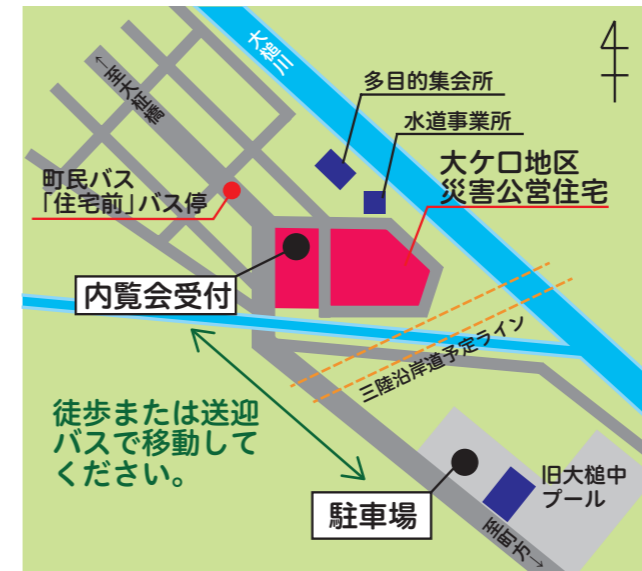
※ 1 町役場午後 2：30 発、午後 3：00 発のバスは帰宅専用です。内覧会には間に合いませんのでご注意ください。

※ 2 両地区をご覧になる人は、町役場でお乗り継ぎできます。

※ 3 道路事情により遅延することがあります。

■会場案内

●大ケ口地区災害公営住宅（大ケロー一丁目町営住宅）所在地：大ケロー一丁目



駐車場：旧大槌中学校プール北側（会場まで 600m 程度）
※駐車場から会場までは送迎バスをご利用いただけます。



工事の様子

●吉里吉里地区災害公営住宅（吉里吉里町営住宅）所在地：吉里吉里一丁目



駐車場：大槌町給食センター



工事の様子

■その他注意事項

工事中につき下記事項にご注意ください。

1. 公開範囲以外には立ち入らないでください。また、一部足元が悪い場所がありますので、係員の指示に従うようお願いいたします。
2. エアコンなどの空調設備はありません。熱中症には十分注意してお越しください。
3. 住宅内のトイレは使用できませんのでご了承ください。
4. 台風などの荒天の場合には中止する場合があります。開催の有無は当日朝9時に防災無線で連絡します。

■お問い合わせ

〒028-1192 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3 大槌町役場 復興局用地建築課 建築住宅班
Tel. 0193-42-8719 FAX 0193-42-3858 (土日祝除く)



建物形式	入居時期	間取り・戸数	
木造長屋平屋または2階建	平成25年8月(入居決定後、すぐに入居可能)	1DK(2戸) 3DK(5戸)	計7戸



建物形式	入居時期	間取り・戸数	
木造長屋2階建または3階建 ※1階部分は駐車場など	平成25年10月(予定)	1DK(4戸) 2LDK(4戸)	計8戸



建物形式	入居時期	間取り・戸数	
集合住宅鉄筋コンクリー造 5階建エレベーター有り	平成25年8月 (入居決定後、すぐに入居可能)	2DK(3戸) 3DK(4戸) 1DK車いす対応(1戸) 2DK車いす対応(1戸)	計9戸

環境整備課からのお知らせ

災害公営住宅入居者2次募集を行います

災害公営住宅入居者の2次募集を行います。応募戸数を超える応募があった場合には、入居者選考委員会の選考により入居者を決定します。

■申込期間 8月19日(月)～8月30日(金) 必着

■申込方法 入居申込書に必要事項を記入の上、申込期間内に大槌町役場2階復興局環境整備課に提出してください。郵送による申し込みも受け付けます。

■送付先 〒028-1192 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3 大槌町役場 復興局 環境整備課 庶務管理班宛
※大槌町町営住宅等条例改正に伴い8月29日より、大ケ口地区は大ケ口一丁目町営住宅、屋敷前地区は源水町営住宅、吉里吉里地区は吉里吉里町営住宅と名称が変更となります。

■入居申込ができる人

次の(1)から(6)までのすべての要件を満たしていることが必要です。

- 東日本大震災により住宅を滅失した世帯(住宅が全壊、大規模半壊または半壊で解体を余儀なくされた人)
 - 応急仮設住宅(みなし仮設を含む)などに居住しており、住宅に困窮している世帯(現在、住宅料などを支払っている世帯は除きます。)
 - 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号」に規定する「暴力団員」が世帯員にいないこと。
 - 住宅再建に関する補助金(被災者生活再建支援金(加算支援金)など)を受領していない世帯
 - 不自然な世帯分離(離婚していない夫婦の別居など)をしていない世帯
 - 大槌町内で被災した住宅に居住していた世帯
- ※被災者生活支援金(加算支援金)を受給している人が、災害公営住宅入居を希望されている場合には、加算支援金を返還することで住宅の申し込みが可能となります。

■入居案内及び申込書の配布

8月12日(月)から下記の場所で配布しています。町外に避難されている人などで、入居申込書を郵送希望の方は、入居者2次募集申込先へご連絡ください。

■配布場所

- 大槌町役場1階被災者支援室および2階復興局環境整備課
- シーサイドタウンマスト2階復興まちづくり情報プラザ
- 大槌町ホームページ

■申込みできる間取り

世帯人数により、申込みできる間取りに制限があります(車いす対応住宅は除く)。

世帯人数	1DK	2DK	2LDK、3DK
1人	○	○	—
2人	○	○	○
3人	○	○	○
4人以上	—	○	○

「○」・・・申込み可 「—」・・・申込み不可

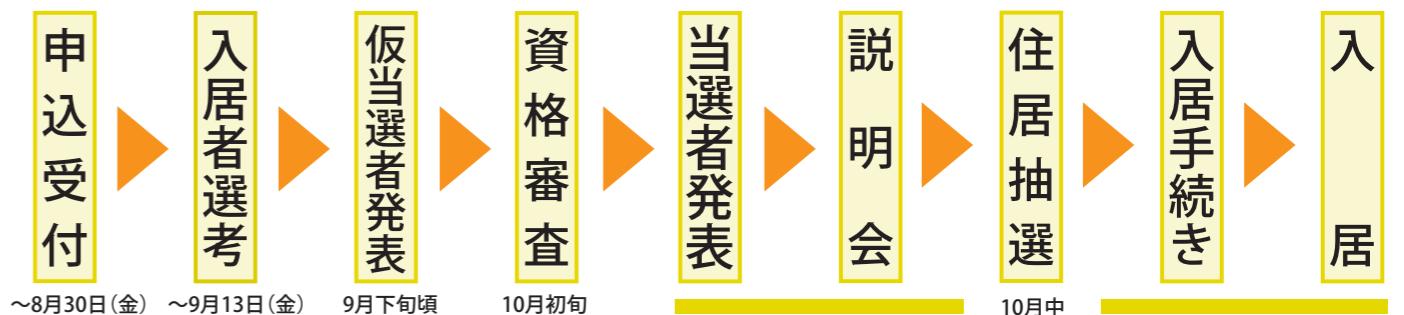
■入居者の決定方法

入居申込書に記載されている内容に基づき、災害公営住宅整備計画検討委員会で審議された間取り適正および復興事業協力世帯優先を選考します。

選考結果は、入居者選考委員会への諮問を行ったうえで各地区・間取りごとに公開抽選を行います。

※抽選は公開とし、事務局で厳正なる抽選を行います。

■申し込みから入居までの流れ



大槌町独自支援事業を実施します

東日本大震災からの復興については、『大槌町東日本大震災津波復興計画・基本計画』および『第1期実施計画』に基づき、防災集団移転促進事業や土地区画整理事業など、被災者の住宅再建に結び付く事業を最優先に推進しており、一日も早い復興をめざして取り組んでいます。

昨年10月に町独自の支援事業を実施しましたが、さらなる住宅再建の後押しとなるよう、また、町の復興をより一層推進するために、町独自支援事業を次のとおり追加します。

①大槌町被災者新築住宅支援事業補助金

項目	内容
目的	東日本大震災により自宅が全壊（半壊解体を含む）した被災者が、大槌町内でその居住する住宅を建設することにより、早期の生活再建と宅地の有効活用を図る。
対象	(1) 東日本大震災被災者。 (2) リ災証明（全壊／半壊解体を含む）交付世帯。 (3) 再建後、大槌町に居住する（住所を有する）ことが条件。 (4) 建築または購入（新築）が対象。 (5) 原則、建物一棟補助。
補助額	200万円（50万円の拡充）
交付	一括補助（完成後の交付）
申請期間	平成23年3月11日から平成31年3月31日まで適用する（遡及あり）
施行予定	平成25年8月1日

【参考】住宅再建に掛る支援の合計額（新築のみ） ※全壊または半壊解体した世帯に限る。

	国（基礎）	国（加算金）	町・県	町独自	合計
複数世帯	100万円	200万円	100万円	200万円	600万円
単身世帯	75万円	150万円	75万円	200万円	500万円

↓
交付済み

②大槌町被災者住宅再建事業利子補助金

項目	内容
目的	防災集団移転促進事業等との補助内容の格差を是正するとともに、土地区画整理事業または漁業集落防災機能強化事業区域内への住宅再建を促進する。
対象	(1) 東日本大震災の被災者。 (2) リ災証明（全壊／半壊解体含む）の交付世帯。 (3) 建築または購入（新築）が対象。 ※防災集団移転促進事業など、国の補助制度で同様の補助事業がある場合はそちらを優先する。 ただし、事業実施前に町内に住宅を建築または購入した場合は対象とする。 (4) 原則、建物一棟補助。
借入先	(1) 住宅金融支援機構 (2) 民間の金融機関等
補助額の算定方法	(1) 住宅の建築または購入資金を対象。 (2) ① 土地区画整理事業、漁業集落防災強化事業対象世帯 利子相当額は住宅購入分444万円、土地購入分206万円が上限 ② ①の事業などを実施しない地域（桜木町、大ケ口、源水、沢山等）。 利子相当額は住宅購入費分300万円、土地購入費分206万円、土地造成費分58万円が上限 ③ 国の補助制度実施前に再建した世帯（遡及）。 利子相当額は住宅購入費分300万円、土地購入費分206万円、土地造成費分58万円が上限
交付	一括補助
申請期間	平成25年8月1日から平成31年3月31日まで
施行予定	平成25年8月1日

③大槌町被災者中古住宅購入支援事業補助金

項目	内容
目的	新築の建築および購入に限らず、中古の戸建住宅購入世帯に対して補助し、早期の生活再建を図る。
対象	(1) 東日本大震災被災者。 (2) リ災証明（全壊／半壊解体を含む）の交付世帯。 (3) 町内の中古戸建住宅（税込350万円以上）を購入し、単独移転したもの ※中古住宅購入の場合、被災者生活再建支援金（加算支援金）200万円、岩手県被災者住宅再建支援金100万円、今回の独自支援事業により50万円が加算され、合計350万円の支援金が補助されるため、350万円以上の購入を対象とする。 (4) 原則、建物一棟補助
補助額	50万円
交付	一括補助（完成後の交付）
申請期間	平成23年3月11日から平成31年3月31日まで適用する（遡及あり）
施行予定	平成25年8月1日

④大槌町定住促進事業住宅取得補助金

項目	内容
目的	町への定住を促進し、地域経済の活性化を図るため、定住を目的に町に転入し、住宅を新たに建築または購入した世帯へ補助をする。
対象	(1) 町外に住居登録を有していた人で、施行日後に町内に転入した人。 (2) 町内または近隣市町村の事業所などに就労している人もしくは採用内定者でまたは町内で自営業を営んでいる人。 (3) 再建後、大槌町に10年以上居住する（住所を有する）ことが条件。 (4) 建築または購入（新築）が対象。 (5) 原則、建物一棟補助。
補助金	100万円
交付	一括補助
申請期間	平成25年8月1日から平成31年3月31日まで
施行予定	平成25年8月1日

復興推進課 TEL 0193-42-8714

大槌町復興まちづくり懇談会を実施します

町は、下記の日程で大槌町復興まちづくり懇談会（町内）を開催します。皆さんの参加をお願いします。

	対象地区	時間	会場
8月24日(土)	安渡	14:00	旧安渡小学校体育館
8月25日(日)	赤浜	13:30	旧赤浜小学校体育館
8月28日(水)	吉里吉里	19:00	吉里吉里中学校体育館
8月29日(木)	浪板	19:00	浪板交流促進センター
8月30日(金)	小枕・伸松	19:00	中央公民館大会議室
8月31日(土)	町方（土地区画整理事業対象） ※末広町・本町 上町・大町の一部	10:00	城山公園体育館
	町方（防災集団移転促進事業対象） ※新町・須賀町 栄町・大町の一部	14:00	
9月1日(日)	沢山	10:00	役場多目的会議室（旧大小体育館）

■内容

- 独自支援事業について
- 防災集団移転促進事業について（団地の募集方法についてなど）
- 公共施設配置計画について
- 災害公営住宅について
- 公民館・避難ホールの整備について（安渡・赤浜に限ります）
- 復興まちづくり事業の進捗状況について
- 質疑応答・意見交換

復興推進課 TEL 0193-42-8714

都市整備課からのお知らせ

▼末広町まちづくりワークショップを開催しています

町は、まちづくり懇談会などで、復興まちづくりの考え方や整備方針について説明してきました。

これに加え、更に皆さんの意向をまちづくりに反映するため、地区ごとに、今後の暮らし方や、まちなみ空間の在り方について考え、話し合う場（ワークショップ）を設けています。

まず初めに末広町の人を対象に2回開催、活発に議論いただきました。次回は左記のとおり開催しますので、是非ご参加ください。

- 日時 8月10日（土）
14時から16時まで
- 場所 大槌町役場 3階 大会議室
- 内容 商店街、御社地、松の下地区の復興後の暮らし方やまちなみの在り方に関する話し合い

▼町方地区土地区画整理事業区域内における土地買い取り申し出の受付を終了しました

これまで町は、町方地区の土地区画整理事業区域内において、災害公営住宅や防災集団移転団地など、公共事業の用地確保のために、土地の買い取り申し出を受け付けてきましたが、目標の面積確保に目途がなかったため、**新規受付を7月31日で終了しました。**

今後、申し出いただいた土地の調査などを行い、順に買い取りを進めます。

水道事業所からのお知らせ

▼水道元栓の開栓、閉栓の受け付けについてお知らせします

大槌町水道事業所は、水道の利用開始（開栓）、利用停止（閉栓）の依頼の受け付け、および作業時間を、平日8時30分から17時15分までとしております。

希望する日の5日前までに、水道事業所への「水道使用異動届」の提出をお願いします。

なお、土曜日、日曜日、祝祭日については、受け付け、および作業は行いませんので、ご了承ください。

※「水道使用異動届」は、水道事業所、役場町民課、または役場ホームページからのダウンロードにより入手できます。

（役場ホームページのトップページ↓申請書ダウンロード）↑水道関連…水道使用異動届

▼水道給水停止執行結果をお知らせします

水道給水停止を左記のとおり、執行しました。

- 執行日 6月17・18日
- 執行件数 22件（桜木町1件、花輪田1件、白沢3件、安渡2件、赤浜1件、吉里吉里3件、浪板1件、大ヶ口1件、種戸1件、蕨打直6件、対間1件、一の渡1件）

☎水道事業所 Tel 0193(42)2035

なお、精査の結果、更に用地が必要になる場合は、改めて買い取り申し出の受付を行う場合もありますのでご了承ください。

既に買い取り申し出済みで、買い取り面積などに関する同意書が未返送の人は、都市整備課まで提出してください。

■締切日 平成25年8月31日（土）

☎都市整備課 Tel 0193(42)8723

生涯学習課からのお知らせ

▼家庭教育講座「幼保児・小学生の子を持つ保護者の部」を開催します

保護者だけでなく、一般の人の参加も大歓迎です。託児コーナーも設けています。参加は無料です。

- 日時 9月7日（土）14時〜15時30分
- 会場 大槌町中央公民館3階 大会議室
- 講演 子どものこころのケア（仮題）
- 講師 いわてこどもケアセンター副センター長 八木 淳子 氏（岩手医科大学）
- 申し込み 8月30日（金）17時までに生涯学習課まで、氏名・連絡先・住所をご連絡ください。

※託児を希望する人は平成25年8月23日（金）17時までに生涯学習課まで、氏名・連絡先・お子様のお名前・お子様の年齢をご連絡ください。**ただし、就学前のお子様に限ります。**

▼平成26年大槌町成人式の記念行事実行委員会を募集します

一緒に成人式を企画・運営しませんか？

平成26年大槌町成人式を、1月12日（日）に開催します。

実行委員は、記念行事の企画・運営、司会などのほか、式典で町民憲章の唱和を担当します。

平成26年の成人式も和やかで思い出に残るすばらしい式にしましょう。

■対象 平成26年大槌町成人式に出席する予定の新人（平成5年4月2日〜平成6年4月1日生まれの人）

■応募方法 電話、ファックスなどで住所・氏名・電話番号・生年月日を生涯学習課までご連絡ください。

■応募締切 9月6日（金）17時まで
※申込・問い合わせは生涯学習課までご連絡ください。

▼城山図書室から臨時開館と臨時休館日のお知らせ

城山図書室は、左記のとおりを臨時開館および臨時休館します。

- 臨時開館
8月4日（日）、8月11日（日）
8月18日（日）の3日間
- ※開館時間は午前9時から午後4時まで。
- 臨時休館日
8月14日（水）、8月15日（木）
8月16日（金）

※移動図書館車は、8月13日（火）、8月14日（水）、8月15日（木）の3日間を運休します。

☎生涯学習課 Tel 0193(42)2300
※ファックス 0193(42)3031

▶社会教育施設・社会体育施設集会施設・学校開放施設の休館日のお知らせ

8月14日（水）、8月15日（木）、8月16日（金）の3日間、下記の施設を休館します。

社会教育施設	中央公民館、赤浜分館、吉里吉里分館、浪板分館、中山分館
社会体育施設	城山公園体育館、寺野多目的体育館（弓道場・テニス場）、大槌町相撲場、旧赤浜小学校体育館、大槌ふれあい運動公園野球場、大槌町勤労青少年体育センター吉里吉里地区体育館
集会施設	浪板交流促進センター、小鎚地区多目的集会所、蕨打直地区集会所、大槌町多目的集会所、上町ふれあいセンター、桜木町保健福祉会館、大槌町金沢地区生活改善センター
学校開放施設	吉里吉里小学校、吉里吉里中学校

☎生涯学習課 Tel 0193-42-2300

保健福祉課からのお知らせ

「おおつち敬老の集い」を開催します

- 日時 9月7日（土）午前10時から
- 場所 城山公園体育館 アリーナ
- 対象 77歳以上の人（昭和12年4月1日以前生まれ）
- 案内が郵送される人

- 77歳（喜寿） ○88歳（米寿） ○99歳（白寿）

※上記以外の77歳以上の人には案内状は届きませんが、どなたでも参加できます。

※町内各地区から送迎バスを運行します。

（バスの時間など詳しくは、後日お知らせします）

☎保健福祉課 介護班 Tel 0193(42)8715



健診・相談・予防接種

健診・相談・予防接種を下記のとおり実施します。

【3歳児健康診査】

- 実施日 8月23日(金)
- 対象者 平成22年2月生まれ
平成22年3月生まれ
- 受付時間 12:00～12:30
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)

【4ヵ月・7ヵ月児相談】

- 実施日 8月5日(月)
- 対象者 平成25年1月生まれ
平成25年4月生まれ
- 受付時間 9:30～10:00(平成25年1月生まれ)
13:30～14:00(平成25年4月生まれ)
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)

【12ヵ月児相談】

- 実施日 8月21日(水)
- 対象者 平成24年7月生まれ
平成24年8月生まれ
- 受付時間 9:30～10:00(平成24年7月生まれ)
13:30～14:00(平成24年8月生まれ)
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)

【BCG予防接種】

- 接種日 8月6日(火)
- 受付時間 13:00～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 対象者 平成25年2月生まれ
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【日本脳炎予防接種】

- 接種日 8月9日(金)
- 受付時間 13:00～13:20
- 会場 大槌町役場多目的会議室(旧大槌小学校体育館)
- 対象者 対象者には個別に通知しています。
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)予防接種】

- 接種日 8月20日(火)
- 受付時間 13:00～13:10
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 対象者 平成18年3月生まれ～平成24年4月生まれ
(生後3ヵ月～生後90ヵ月)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【不活化ポリオ予防接種】

- 接種日 8月20日(火)
- 受付時間 13:10～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 対象者 平成18年3月生まれ～平成24年4月生まれ
(生後3ヵ月～生後90ヵ月)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【四種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ)予防接種】

- 接種日 8月27日(火)
- 受付時間 13:00～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター(寺野)
- 対象者 平成18年3月～平成25年5月27日以前生まれ
(生後3ヵ月～90ヵ月)
- ※三種混合とポリオの予防接種をまだ一度も接種していない者
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

☎ 保健福祉課 健康推進班 Tel. 0193-42-8715

特別児童扶養手当所得状況届・児童扶養手当現況届の提出について

特別児童扶養手当を受けている人は「所得状況届」、児童扶養手当を受けている人は、「現況届」を毎年提出することになっています。すでに郵送されている届出用紙その他必要な書類を揃えて提出期限までに下記まで提出してください。

特別児童扶養手当

- 提出期限 9月6日(金)
- 受付時間 8:30～17:15(土日を除く)
- ※下記日時で土曜日も受付を行います。
8月10日(土) 9:00～16:00

児童扶養手当

- 提出期限 8月30日(金)
- 受付時間 8:30～17:15(土日を除く)
- ※下記日時で土曜日も受付を行います。
8月10日(土) 9:00～16:00

☎ 保健福祉課 地域福祉班 0193-42-8715

おらほの町の
地域包括支援センター

ここでは、高齢者に関わる様々な話題を掲載しています。



身の回りに潜む危険から身を守ろう!

～ 消費者被害にご注意を ～

当センターにも、消費者トラブルの相談が寄せられております。「私はだまされたことがない」と言う方も、話をしていくと高額な契約をさせられている場合があります。

悪質商法は、訪問販売、電話勧誘販売、利殖商法、次々販売、無料商法、点検商法、当選商法など手口はさまざまです。巧みな手法で、だまされたことに気づきにくいことも多く、日頃からの意識、身近な方々の気づきが被害をくいとめることにつながります。

また、被害にあったと自覚している方でも、誰にも相談しない場合も少なくありません。被害にあったことを恥ずかしく思い、迷惑をかけたくない、だまされた自分が悪いと自らを責める方もいます。悪質業者の中には巧みなセールストークで不安をあおったり、「誰にも言うてはいけない」と口止めをするケースもあります。

おかしいな、
と思ったら、
ひとりで悩まずに
相談しましょう。



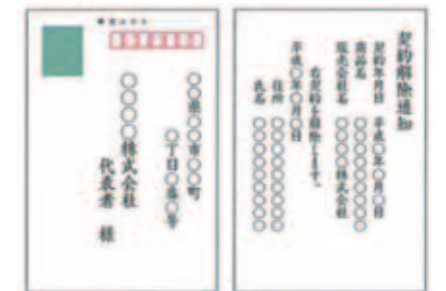
知っておこう! クーリング・オフ制度

訪問販売などで契約してしまった場合、一定期間内であれば無条件で解約できる「クーリング・オフ」という制度があります。

契約書面を受け取った日から、8日間以内に書面で通知をします(いわゆるマルチ商法・内職商法は20日間)。

はがきは両面コピーして、特定記録郵便か簡易書留にし、送付した証拠を残します。クレジット契約があるときは、クレジット会社にも同様にはがきで通知します。

【書面での通知の例】

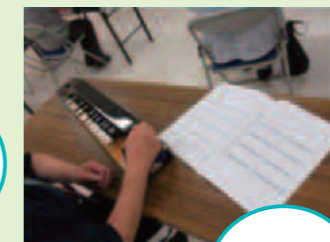


おきらく教室の様子

6月からマストホールにて、趣味の教室を開催しております。今回はその様子をお伝えします。今後も様々な教室を開催する予定です。



かな書道教室



大正琴教室



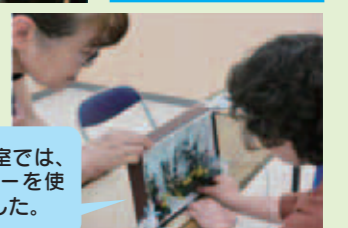
フラワーセラピー教室

6月の教室の内容

- ・かな書道教室
- ・フラワーセラピー教室
- ・大正琴教室



フラワーセラピー教室では、プリザーブドフラワーを使用して飾りを作りました。



☎ 保健福祉課 大槌町地域包括支援センター班 Tel. 0193-42-8716

PHOTO まちかど



「町方には数多くの湧水があり、震災後も清水が、こんなと湧きだしています。須賀町の一角にある家庭菜園では、その湧水を利用し、野菜作りが行われています。復興が進めば、この菜園は無くなってしまふことでしょう」
【5月12日、伊藤陽子さん撮影】



「小鍬川で飛んでいるカワセミを撮影しました。カワセミは『青い宝石』と呼ばれ、鮮やかな水色の体色と、長いくちばしが特徴です。崖の斜面に巣作りをし、小魚を餌にしています。小鍬川では3羽のカワセミを確認しています」
【7月4日、三浦寧史さん撮影】

総合政策課では読者の皆様からのニュース提供をお待ちしています。町民の方々に広く知ってほしい出来事があれば、お知らせください。「PHOTO まちかど」への写真投稿も歓迎です。変容する町の姿、震災前から変わらない町の光景を写真で切り取り、お寄せください。また、広報誌への感想や提言を、お送りください。はがき、手紙の場合は、住所、氏名、連絡先（電話番号など）を明記のうえ、〒028-1192 大槌町上町1-3 大槌町役場総合政策課・広報誌担当へ。
☎ 総合政策課 復興まちづくり班 Tel 0193-42-8724 E-mail: hiroshi.t@town.otsuchi.iwate.jp

大槌町カレンダー 8月5日(月)～9月4日(水)

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
5(月)	4ヵ月、7ヵ月児相談 のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、眼科 午後：内科、整形外科
6(火)	無料法律相談(10:00～15:00) BCG 予防接種 のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、整形外科 午後：内科
7(水)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
8(木)	心配ごと相談(9:30～12:30) のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、外科 午後：内科
9(金)	のびのび広場 (13:30～) 日本脳炎予防接種	午前：内科 午後：内科
10(土)		完全休診 (急患受付なし)
11(日)	心配ごと相談(9:30～12:30)	完全休診 (急患受付なし)
12(月)		午前：内科、整形外科 午後：内科
13(火)	のびのび広場 (9:30～) 心配ごと相談(9:30～12:30)	午前：内科、外科、眼科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
14(水)		完全休診 (急患受付なし)
15(木)		完全休診 (急患受付なし)
16(金)		完全休診 (急患受付なし)
17(土)		完全休診 (急患受付なし)
18(日)		完全休診 (急患受付なし)
19(月)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、眼科 午後：内科、整形外科
20(火)	のびのび広場 (9:30～) 行政相談(10:00～12:00) 人権相談(10:00～12:00) 三種混合予防接種 不活化ポリオ予防接種	午前：内科、外科 午後：内科、皮膚科
21(水)	のびのび広場 (9:30～) 無料法律相談(10:00～15:00) 12ヵ月児相談	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
22(木)	のびのび広場 (13:30～)	午前：内科、外科 午後：内科
23(金)	のびのび広場 (9:30～) 3歳児健康診査	午前：内科 午後：内科
24(土)		完全休診 (急患受付なし)
25(日)		完全休診 (急患受付なし)
26(月)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、整形外科 午後：内科
27(火)	のびのび広場 (9:30～) 心配ごと相談(9:30～12:30) 四種混合予防接種	午前：内科、外科、眼科 午後：内科、皮膚科
28(水)	のびのび広場 (13:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、整形外科、皮膚科
29(木)	のびのび広場 (9:30～) 二重ローン個別相談	午前：内科、外科 午後：内科
30(金)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科 午後：内科
31(土)		完全休診 (急患受付なし)
9月		
1(日)		完全休診 (急患受付なし)
2(月)	のびのび広場 (9:30～)	
3(火)	のびのび広場 (9:30～)	
4(水)	のびのび広場 (9:30～)	

※心配ごと相談は、大槌町社会福祉協議会で実施しています。相談内容についてはお問い合わせください。
☎ 大槌町社会福祉協議会 Tel 0193-41-1511

※のびのび広場では、大槌保育園を解放し、親御さんや子どもたちの交流の場を提供します。
☎ 大槌町地域子育て支援グループかりん Tel 0193-42-2570

3年目の仮設 ～より良き暮らしのために～



子どもたちが踊って歌う「ふるさと科」で住民励ます
大槌町立大槌小学校の2年生60人が、7月5日、町内の小鍬川仮設団地を訪れ、ダンスと歌で住民たちを励ました。2015年度から小中一貫教育に移行するのに伴って新設される「ふるさと科」の一環。団地のお年寄りたちは、子供たちに元気づけられ、顔をほころばしていました。
子供たちは先生に引率され、小学校から約30分歩いて仮設団地を訪れました。仮設団地では約30人の住民が待っていました。子供たちは6月の運動会で発表したダンスを踊り、小学校の校歌を歌いました。ダンスと歌が終わると、手書きしたメッセージを住民にプレゼントしました。

大槌町が東京大学の協力を得てつくった「大槌びんころ体操」が、5月29日、町民に披露されました。「大槌町民歌」「大槌漁場音頭」に合わせて行う介護予防体操です。町では、体を動かす機会が少ない仮設団地の住民の方々を中心に、町内に広めようと考えています。
大槌町では町内48カ所の仮設住宅団地に、約3分の1にあたる町民が住んでいて、住宅に閉じこもりがちになる人たちも出ています。運動不足を解消し、介護が必要な状態になることを出来る限り予防しようと、この体操がつけられました。
大槌町地域包括支援センター、

メッセージには「きょうは、みにきてくれてありがとうございました。かなしいときもえがおでいてください」「元気ですか。こっちは元気です。けんこうでよいせいかつをしてください」などと書かれていました。
団地に住む小川美江さん(80)は「仮設で一人、ぼうつとしていたから、子供たちに癒された」と喜んでいました。
付き添ってきた2年2組担任教諭の河野憲二さん(43)は「仮設を訪ねるのは今日が初めて。これからも続けていきたい」と話していました。



はつらつと「びんころ体操」運動不足解消に向けて
大槌町地域包括支援センターの岩間純子さんは「仮設団地でも手軽に体操できるよう、DVD化した。大槌町のオリジナルの体操として普及させたい」と語っています。
東京大学、高齢者支援にかかわっている人たちが話し合い、住民になじみが深い歌に合わせた体操を提案しました。
歌のイメージから、「舟をこぐポーズ」「はちまきを結ぶポーズ」「カモメが飛ぶポーズ」「辺りを見渡すポーズ」などが考案されました。筋肉を伸ばし、筋力を強化する体操です。
元気に長生きし、病にならずに、ころりと逝こうという意味合いを込めて「びんころ体操」と名付けたそうです。
大槌町地域包括支援センター

町長随想

④ 「人生は廻る輪のように」

多くの悲劇と苦難が始まった東日本大震災から、三度目のお盆の月を迎えた。お盆には、別世界で暮らしている皆さんには、迷わず故郷に帰り、家族と過ごしてほしいと願う。
先日、世界的なベストセラーとなった「死ぬ瞬間」の著者エリザベス・キューブラー・ロス博士の初版の自伝「人生は廻る輪のように」を読んだ。
題字の「人生は廻る輪のように」とは、どういうことなのか引き込まれるようにページをめくった。
本には、「死は存在しない」ことについて、著者の深い意味の提唱があり、頷かせられるものがあった。
それは「肉体の死はもちろん存在する。しかし、蝶がさなぎから羽化するように、役目を終えた肉体から何かが抜け出し、さらに長い、長い命の旅を続ける。存在するのは物質としての肉体の死だけであり、いのちの終焉としての死は存在しない。そう気づいたとき、人は大いなる安心の境地にいたり、次の段階へと成長をとげる。蝶の羽化のようにな・・・」と教示している。
意味合いが少し離れると思うが、読んでいる内に、「千の風になつて」の歌詞を脳裏に浮かべていた。「千の風になつて、あの大きな空を、吹きわたっています・・・朝は鳥になつて、あなたを目覚めさせる。夜は星になつて、あなたを見守る。」ご遺族の皆様には、今なお、慰めの言葉が見当たらない。しかし何とか試練を乗り越えて頂きたい。お盆には、町民の皆さんと共に旅人となった故人を迎えたい。改めて心からご冥福を祈る。合掌。
(碓川 豊)

小曽根さん白澤さんコラボ実現 NHK 番組の公開収録

世界的なジャズピアニスト小曽根真さんと、歌手白澤みさきさんの共演が実現しました。二人は、6月29日に大槌町中央公民館で開かれたNHKの公開収録「岩手 大槌町 よみがえれ!ふるさとの記憶」に出演し、小曽根さんのピアノで白澤さんが歌いました。曲は、言うまでもなく「ひよっこりひょうたん島」の主題歌です。

公開収録はNHKが中央公民館で開いていた「いわて失われた街模型復元プロジェクト展」に合わせて企画され、NHKの桜井洋子アナウンサーの司会で進行しました。

小曽根さんは故井上ひさしさんと交流があったことから、震災後、大槌町で演奏会を開き、被災者を励ました。町に正午に流れる「ひよっこりひょうたん島」の曲は、小曽根さんがアレンジしました。

一方、白澤さんは大槌中学校3年生。小学校6年生の時に震災に遭い、友人、知人を失いました。2012年、デビュー曲「故郷」で、日本有線大賞新人賞、日本レコード大賞新人賞を受賞しました。

公開収録で小曽根さんは「阪神大震災を体験し、東日本大震災は他人事ではなかった。大槌町では復興に向かうエ



ネルギーが磁場となって感じられる」と話し、白澤さんは「避難所を巡って民謡を歌い、被災者を励ました。歌の力を感じました」と語りました。

公開収録ではNHKが過去に撮影した大槌町の映像が上映されました。秋サケ漁、祭り、突きん棒漁、お盆の風習である松あかし……。昔懐かしい光景が写し出されました。最後に、白澤さんが「故郷」を歌い、小曽根さんのピアノでNHKの人形劇「ひよっこりひょうたん島」の主題歌を、白澤さんと会場の参加者全員で歌いました。

大槌と花巻を結ぶ友情の歌声 大槌町で「うたっこの集い」

花巻市と大槌町のお年寄りによる初の「うたっこの集い」が6月14日、大槌町内の町中央公民館で開かれました。約250人の参加者は、それぞれの思いを込めながら青春時代の歌を歌い、会場には友情の輪が広がりました。

主催したのは花巻市のシニア大学自治会。花巻から貸し切りバスで114人が参加し、大槌町老人クラブ連合会のメンバー120人が出迎えました。

大槌町老人クラブ連合会事務局長で、花巻市内の、みなし仮設住宅に住む小林敏子さん(70)が、相互交流のきっかけを作りました。

花巻市のシニア大学で震災時の体験を講演し、シニア大学自治会で年1回開いている「歌って広場」に参加。故郷の被災者を励ますために、大槌町でも開催したいと考えて提案し、実現しました。

歌った青春時代の歌は16曲。「青い山脈」「ああ上野駅」「四季の歌」「花は咲く」……。涙を流しながら歌うお年寄りの姿も目立ちました。

歌い終わると、大槌町老人クラブ連合会長と花巻市シニア大学自治会長との間で、年1回、文化交流事業をする合



意書が交わされました。

花巻からの参加者は、それぞれが庭植えの花を持ち寄り、大槌町からの参加者にプレゼントしました。これらの鉢には、「花巻市民の庭は大槌につながっていますよ」というメッセージが込められています。

大槌町の仮設住宅に住む上田昇さん(76)は「素晴らしい集いだった。腹の底から歌った。歌で心が一つになった」と語ってくれました。

新山高原の展望台に観光望遠鏡 くっきりと「ひょうたん島」

大槌町の新山高原の展望台に6月20日、新しい観光望遠鏡が設置されました。大槌湾から早池峰山まで360度のパノラマの光景が楽しめます。

旧役場に保管されていた古い望遠鏡は津波で流され、新山高原を含めた釜石、遠野、大槌2市1町にまたがる高原で風力発電事業を展開するユーラスエナジー釜石から寄贈を受けました。

観光望遠鏡は各種光学機器を製造、販売する京都市内の「COVAC」製です。倍率は15倍。無料で見られます。梅雨の晴れ間のこの日、大槌町商工労政課の職員が、町役場から望遠鏡を運び、標高1,000メートルの展望台に設置しました。

東方に大槌湾や鯨山、西方に早池峰山、薬師岳を眺めることができます。望遠鏡をのぞいて見ました。大槌湾に浮かぶ蓬菜島がくっきりと見えました。湖に浮かぶ孤島のように見えました。



新山高原は大槌町の西方にあります。つつじの群生地、わが国、最大規模の風力発電施設を間近に見学することができます。震災前、つつじが見ごろの6月中旬には新山高原まつりが開かれ、観光客でにぎわっていました。

観光望遠鏡は、期間を限って利用され、冬場は役場に保管されていました。震災当時、役場は津波に襲われ、望遠鏡は流失しました。大釜範之・大槌町産業振興部長は「望遠鏡を設置することで新山高原の魅力が一層、増すことでしょう」と話しています。

山梨の寺院が赤浜に神輿寄贈 3年ぶりに例大祭復活へ

大槌町赤浜にある八幡神社に7月14日、山梨県富士川町の善国寺から2台の神輿が寄贈され、奉納式が催されました。神社には、もともと神輿はなく、新たなシンボルができました。地域の人たちは、今年秋に3年ぶりに開く神社の例大祭に意欲を燃やしています。

神輿は大、小一対です。大は高さ1.5メートルで1メートル四方、小は高さ1メートルで80センチ四方。漆塗りの屋根と、四方を囲む鳥居が特徴です。

善国寺の檀家だった職人が造りかけていた神輿を寺が譲り受け、受け入れ先を探していたところ、山梨県早川町が親交のある大槌町を紹介し、実現しました。神輿を保管する倉庫も神社の境内にできました。

奉納式では、神輿を担いだ町民が、旧赤浜小学校の校庭跡を出発。陸中弁天虎舞などの郷土芸能とともに海岸を練り歩き、大槌湾に入ってお清めをし、八幡神社で式典をしました。



神輿は10月の例大祭で地区内を練り歩くことになりません。式典実行委員長の岡本大作さん(64)は「これで神社の例大祭を震災後、初めて開くことができる」と喜んでいました。

奉納式に参加した早川町からの関係者は「大槌町の方々が、少しでも元気になってくれればうれしい」と語りました。



城山の風

発行：大槌町教育委員会 第66号 25. 8. 5
岩手県上閉伊郡大槌町小槌 32 金崎 126 TEL 42-6100

教育行政基本理念

町づくりは
人づくりにあり
人づくりは
教育にあり

的確な判断と主体的な行動をめざす

防災教育の推進は学校と地域が一体で

「ふるさと科」の3本柱の一つである、防災教育のあり方について意見交換する「防災教育の推進に係る打ち合わせ会」が開かれました。会合には、消防・防災関係者、町内会・分館、学校関係者など24名が出席し、慶應義塾大学准教授大木聖子先生講話の後、大槌町の学校教育における防災教育の方向性について話し合いがなされました。

【防災教育のねらい】

郷土の自然・地形を理解するとともに災害について理解し、防災体制の意義や、災害時の防災に対する主体的な判断力と実践力を育成する。

まなびの内容

- 自然災害発生のメカニズム
- 自然災害の歴史
- 自然災害のライフラインへの影響
- 災害時における情報収集・活用・伝達
- 学校・家庭・地域での日頃の備え
- 身を守り・生き抜くための技能

【これからの取り組み】

- ◇ 大槌地区実践委員会の開催
広く各界各層からの委員による検討
- ◇ 緊急地震速報システムの設置と活用
システムを活用した初期対応訓練
- ◇ 主体的判断する避難訓練の実施
登下校時を含む避難訓練
- ◇ 津波講演会の実施
地域の実情に応じた講演会

【大木先生の講話から】

災害は、人と自然現象との関わり合いの中でおこる。人間が変わったり社会が強くなったりすることで、被害を防いだり、小さくしたりすることができる



〈緊急時に陥りやすいバイアス（傾向）〉

正常性バイアス

外部からの強烈な刺激に対し「きっと、大丈夫だろう」と思うことで落ち着こうとする。

同調バイアス

自分以外に大勢の人がいるとき周りに合わせてしまう。

リアルに想像できない

人は経験していないものに対してなかなかリアリティを持つことができない。

思い当たる
ことが多々あ
りますね。



小中学校の2学期始業式

夏休みもほぼ中間点にさしかかり、宿題の進み具合も気になるところだと思いますが、子どもたちは元気に有意義な休みを過ごしているようです。各校の2学期始業式は次のとおりです。提出物等を確認させ、実りの秋に向けてスタートさせたいものです。

大槌小学校	➡ 20日(火)
吉里吉里小学校	
吉里吉里中学校	
大槌中学校	➡ 19日(月)

ふるさとを明日へ

吉里中郷土芸能発表会

吉里吉里中学校では、「ふるさと科」につながる取組として、地区に伝わる虎舞、鹿子踊、大神楽を「必修科目」として全生徒が、その伝承活動に取り組んでいます。

取組期間中の週1回の「授業」では、地域の方々や先輩が、後輩たちに踊りや囃子を熱心に指導しています。

7月10日に行われた発表会では、地域のみなさんに加えて吉里吉里小学校の5,6年生など200人あまりが鑑賞しました。演技に先立って、各芸能の由来等



について地域の方々からの聞き取りによる調査発表があり理解を深めました。舞の発表では生徒たちの熱のこもった演技に、会場から大きな拍手が送られました。当日は、下村文科大臣が視察に訪れ、学校と地域が一体となった取組の今後の充実発展に大きな期待感を示しました。

スマイル図書館開館

▶▶▶ 本と子どもを近づける

これまで教室の片隅や廊下においた棚を書架代わりにしていた大槌小・中の校舎に、図書や書架などたくさんのお支援をもとに待望の図書館ができ、このたび開館しました。

図書館は、元の安渡小・赤浜小の職員室に充てられていた部屋で、小・中学生が共同で利用します。

館内には、いすや机は置かず、カーペットやクッションでゆったりとくつろいだ雰囲気の中で本の世界を楽しむことができるよう配慮されています。

休み時間ともなると、図書袋を手にした子どもたちが殺到し、まさに、行列のできる図書館です。

また、図書館では休み時間や放課後に読書ボランティアの皆さんによる読み聞かせが行われており、本と子どもとの距離をさらに縮めてくれています。



吹奏楽沿岸地区大会

小・中・高そろって県大会推薦

今年度の吹奏楽コンクール沿岸地区大会は7月7日大船渡市民文化会館（リアスホール）で開催され当町からは初参加の大槌小と大槌中、吉里吉里中、大槌高校の4校が出場しました。

各校とも、日頃の練習の成果を発揮し素晴らしいリズムとハーモニーの演奏を披露し観衆を魅了しました。

審査の結果、小・中・高3校がそろって県大会への推薦を受ける快挙を成し遂げました。

〈大会結果〉

小学校部門	大槌小学校	銀賞（県推薦）
中学校部門	大槌中学校	金賞（県推薦）
〃 小編成	吉里吉里中学校	銀賞
高校小編成	大槌高等学校	金賞（県推薦）

カッパの歓声プールに響く

吉里小・大高プールで水泳学習

夏の体育学習の楽しみは、プールでの水泳です。町内の海水浴場での遊泳ができないこともあり、泳ぎをおぼえる、泳力をつける機会は学校での水泳学習に頼らざるを得ません。

現在、大槌小学校にはプール施設がないことから、吉里吉里小学校、大槌高等学校のプールを借用して水泳学習を行っています。

高校のプールには、水深調節のためのプールフロアをコースの半分に設置させていただき、低学年でも安心して水に慣れ親しむことができるようにしています。

水泳は、小学校の早い時期に身につけなければ後々チャンスを失います。プールに響く歓声は、まなびの喜びでもあります。

まちのお知らせ

行政相談について

行政相談委員が相談に応じます。
 ■日時 8月20日(火)10:00~12:00
 ■会場 大槌町役場1階 相談室1
 ■相談委員 若生 晃さん
 ☎ 総務課総務班 Tel.0193-42-8710

人権相談について

身のまわりで起きた人権問題(いじめ、虐待、家庭内暴力、離婚、扶養、相続問題、近隣関係、セクハラ、借金問題、その他困りごと)について、法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員が相談に応じます。
 ■日時 8月20日(火)10:00~12:00
 ■会場 大槌町役場1階 相談室2
 ☎ 町民課町民生活班 Tel.0193-42-8713

無料法律相談について

岩手弁護士会では、下記のとおり無料法律相談会を開催します。
 ■相談日 8月6日(火)、8月21日(水)
 ■時間 10:00~15:00
 ■会場 釜石市消費生活センター
 ※事前予約制となります。下記問い合わせ先で予約して下さい。
 ☎ 釜石市消費生活センター(釜石市只越町3-9-13 釜石市役所第1庁舎内)
 Tel.0193-22-2701

多重債務相談窓口を開設します

東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの人からの相談に応じています。相談は秘密厳守、無料です。
 ■相談専用電話 Tel.019-622-1637
 ■受付 月~金曜日(祝日、年末年始を除く)
 ■所在地 盛岡市内丸7-25
 ☎ 東北財務局盛岡財務事務所理財課
 Tel.019-625-3353

町内各地の放射線量についてお知らせします

町内の放射線量測定結果についてお知らせします。結果は下の表のとおりです。なお、国の除染基準は0.23 毎時マイクロシーベルトです。 ☎ 町民課 町民生活班 Tel.0193-42-8713

測定地点	7月9日(火)時点	測定地点	7月9日(火)時点
小釜小学校仮設団地	0.078	大槌第5 仮設団地(和野橋下流)	0.073
小釜仮設団地(佐野屋球場)	0.067	金沢小グランド	0.074
大槌町役場	0.071	桜木町中央公園	0.073
安渡第2 仮設住宅(旧小学校)	0.074	源水(屋敷前)	0.053
赤浜小学校グラウンド	0.073	大ケ口公園	0.071
吉里吉里中学校仮設団地	0.067	沢山地区(高森団地)	0.069
吉里吉里第5 仮設団地(駅公園)	0.074	沢山地区(郵便局脇)	0.080
吉里吉里第2 仮設団地(浪板)	0.092	花輪田定住促進住宅裏	0.055
大槌第7 仮設団地(大柁橋下流)	0.088	測定地点平均値	0.073

二重ローン個別相談会

個人債務者向けの二重ローン相談会を開催します
 ■日時 8月29日(木)10:00~15:00
 ■場所 大槌町役場1階 相談室1
 ☎ 個人版私的整理ガイドライン運営委員会 Tel.019-606-3622

震災ストレス相談

不安で眠れない、眠りが浅い、いらいらして落ち着かない、考えがまとまらない、何も手につかない、調子がよくない、なかなか元気になる、お酒の飲み過ぎで自分や家族が悩んでいるなどの悩みが震災以後、続いている場合ご相談ください。専門スタッフが相談に応じます。
 ■日時 毎週金曜日 14:00~16:00
 ※予約受付時間は平日9:30~15:30
 ☎ 釜石地域こころのケアセンター
 Tel.0193-25-1822

登記相談のフリーダイヤルを設置しました

法務局では、被災した人から、不動産や会社などの登記に関する相談をお受けする。フリーダイヤルを設置しております。お気軽にご相談ください。
 ■受付時間 8:30~17:15
 (土日祝日を除く)
 ■相談内容例
 ・相談に関する登記手続きは、どうすればいいの?
 ・被災建物の代替建物を取得した際の登記はどうなるの?
 ・会社の役員変更の手続きはどうすればいいの?
 ・土地や建物の権利書を紛失してしまったけど?
 ☎ フリーダイヤル Tel.0120-227-746

戦後海外から引き揚げてこられた人へ

税関では戦後、海外から引き揚げてこられた人からお預かり致しました、約87万件の下記のような未返還の保管証券類をお返ししています。
 ■返還対象
 ・終戦後、海外から引き揚げて来られた人が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券。
 ・帰国前に樺太(真岡、大泊、豊栄、留多加)、満州(瀋陽、吉林、撫順、鞍山など)にあった在外公館、日本自治会に預けられた通貨・証券等のうち日本に返還されたもの。

返還の請求はご本人だけでなくご家族の方々でも構いません。お気軽に最寄の税関までお問い合わせください。

☎ 大船渡税関支署釜石出張所
 Tel.0193-22-3010

補聴器業者による補聴器相談会

補聴器による補聴器相談会を開催します。内容は補聴器の装置指導、修理、点検等の相談となっています。
 ■日時 毎月第3火曜日 9:40~13:30
 ■会場 シーサイドタウンマスト2階マストホール
 ☎ 岩手リオン補聴器センター宮古店
 Tel.0193-63-5133

みんなで歌って楽しむ交わり会

三択クイズに回答し、素敵なプレゼントをゲットし、楽しいひと時を、お過ごしください。
 ■日時 8月17日(土)13:00~15:00
 ■会場 大槌ジョイフルハウス(大ケ口保育園斜め前)
 ■参加費 無料
 ■対象 どなたでも参加可能
 ■主催 釜石 AG 支援センター
 ☎ 担当・八巻(ヤマキ)
 Tel.080-1226-9355

食肉や内蔵の生食・加熱不足による食中毒にお気をつけ下さい

近年増えているカンピロバクターや腸管出血性大腸菌による食中毒は食肉やレバーなどの生食や調理における加熱不十分、手指・まな板を通した水や野菜等への2次汚染などで発生しています。

牛、豚、鶏などの食肉やレバーなどの生食は、食中毒のリスクがありますので中心部まで十分に加熱して食べてください。

手洗いは調理前、トイレ後はもちろんですが、生野菜、食肉類、魚介類、生卵およびそれらの調理に使用した器具やふきんに触れた後も行いましょう。また、生食や魚は野菜など生で食べるものから離し、使用済みまな板やの包丁はできるだけその都度洗って熱湯消毒しましょう。

☎ 岩手県釜石保健所環境衛生課食品衛生担当 Tel.0193-25-2702

第1回「新農業人フェア in いわて」を開催します

近年、生まれ故郷に戻って就農しようとするUターン希望者や自然に恵まれた本県農村に安心して心豊かな生活の実現を求めて、新たに農業にチャレンジする人が増加しています。

このような新たな就農や農業参入希望者に、県内の就農・就業、起業などに関する的確な情報を提供し、円滑な農業担い手の確保・育成、定着促進の推進を目的に新規就農相談会を開催します。

■開催日時 9月7日(土) 11:00~15:00
 ■開催場所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」8階 804会議室
 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

■参加対象者
 ●新規就農を希望している人 ●企業等で農業参入を希望している人
 ●農業法人へ就業・研修を希望している人 ●農業体験を希望している人
 ■相談内容
 新たな農業を始めるに当たっての情報を提供し、個別の相談に応じます。
 ■参加経費 入場無料(自由に参加できます)
 ☎ 岩手県農林水産部農業普及技術課普及担当 Tel.019-629-5656
 公共社団法人岩手農業公社農業振興部就農支援課 Tel.019-623-9390
 岩手県農業会議総務・経営部 Tel.019-626-9210

建築物防災週間について

8月30日(金)から9月5日(木)まで、建築物防災週間を実施します。

この週間は、地震、火災、がけ崩れ、等各種災害による人命及び建築物の被害を防止し、安心して生活ができる空間を確保するため、県民に対し建築物に関する防災知識の普及に努めるとともに、防災・維持保全関係法令の周知徹底を図ることにより、建築物の防災対策を推進することを目的としています。

県は、万が一災害が発生した場合、著しい被害の発生するおそれのある、特に防災上の配慮が強く求められるような建築物を中心に、地元市町村や消防などと共同で防災査察を実施して、安全管理の状況をチェックし、必要に応じた指導を行います。

なお、この週間中、下記の場所において防災相談所を設置し、建築に関する地震対策地震対策のほか、火災やがけなどの建築物の防災に関する住民のご相談にお答えいたしますので、是非ご利用ください。

■防災相談所設置期間 8月30日(金)~9月5日(木)
 ■会場 沿岸広域振興局土木部(釜石市、大槌町担当)
 ☎ 沿岸広域振興局土木部 Tel.0193-25-2708

【訂正のお知らせ】

平成25年7月5日発行「広報おおつち No563」の1ページに記載しております、職員募集の欄で、受験資格に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
 (誤) (平成25年3月31日までに高等学校等を卒業見込みの人を含む。)
 (正) (平成26年3月31日までに高等学校等を卒業見込みの人を含む。)

おめでた・おくやみ(敬称略)

6月15日~7月15日分
 【出生】
 高清水 夕吹(八十雄・新町)
 旦尾 碧都(純・大ケ口一)
 田中 綾(喜基・新町)
 齊藤 雫(宏・沢山)
 澤山 葵依(洋一・大町)

【婚姻】
 { 黒澤 開人(赤浜三)
 { 中村 美由紀(上町)
 { 岡本 太一(釜石市)
 { 佐藤 崇子(桜木町)
 { 那須 和也(赤浜一)
 { 小豆嶋 洋鈴(赤浜一)

【死亡】
 山口 シメ(87・吉里吉里三) 6/19
 佐藤 シエ(83・浪板) 6/21
 平野 邦彦(53・浪板) 6/23
 里館 リヤ(85・港町) 6/25
 小林 ミヤ(76・沢山) 6/27
 佐藤 康子(51・浪板) 7/10
 三浦 ナヲ(88・上町) 7/11
 吉田 司(71・赤浜一) 7/11

相続に関する無料相談のお知らせ

岩手県司法書士会は8月の1ヵ月間を「相続に関する無料相談」実施期間と設定し、無料相談キャンペーンを行います。

期間中は、各会員事務所において相続(手続き)に関する無料相談を行うほか、フリーダイヤルによる電話相談窓口を設けます。

■期間 8月1日~30日までの1ヵ月間
 ■常設相談場所 県下、会員事務所
 ※土日および各会員事務所お盆休み期間を除く
 ■フリーダイヤル 0120-823-815
 ※10:00~13:00
 (土日及び13日~16日を除く)
 ■相談内容例
 ・自宅が亡くなった祖父の名義のままになっている
 ・相続人の中に行方不明者がいて話し合いができない
 ☎ 岩手県司法書士会事務局
 Tel.019-622-3372

大槌学の すゝめ

④フィルムコミッションのさきがけ

「二連続の鬼」。ちよつと物騒な感じのタイトルですが、これって大槌で撮影された映画。「んだ、スラギで、ほれ」とか聞こえてきそうです。

記録によれば、昭和22（1947）年7月8日が公開日。

突きん棒漁は、日本の伝統漁法。これにマタギの鉄砲猟を融合させ、その名手として漁業史に名を残した人、小豆島栄作。月刊雑誌キングには「海のハンター」、月刊講談倶楽部では「つきんぼ一代」、そして松竹映画「二連続の鬼」のモデルに。昭和25（1950）年には、岩手県漁法の改良に貢献したとして、第3回岩手日報文化賞・産業部門を受賞。

映画の主役「黒島」役は、名優佐分利信。昭和49（1974）年、映画『華麗なる一族』、昭和52（1977）年からの『日本の首領』三部作、昭和54（1979）年からのNHKの向田邦子脚本テレビドラマ「阿修羅のごとく」など。紫綬褒章も受章しています。

映画は、女性を巡る男二人の争い。もう一人の男は「禿鷹」、岩手県出身の宇佐美淳が好演。

こんなエピソードが。男二人が恋心を寄せるふじ子役は井川邦子、そして

その姉とみ江を演じた川崎弘子。須賀町にあった「佐々木旅館」に宿泊していた川崎弘子。今でこそ見なくなりましたが、当時は「おまる」が一般的。所謂、持ち運びができる便器。「まる（放る）」は大小便をする意味。「お」は接頭語。洗浄した後、水を張って置くのが一般的。この水を、手洗いの水と勘違いした、との逸話。虚実皮膜の間は、今となつては確かめようもありませんが、芸能人の行動が世人によつて市井で語られていたのでしょう。

アカデミー賞を受賞した「おくりびと」。撮影が行われた山形県庄内は、日本のハリウッドと今では呼ばれています。北九州市や県内では「えさし藤原の郷」など、フィルムコミッションによる地域活性化や文化振興、さらには観光振興にも大きく貢献しています。

震災復興にフィルムコミッション、期待が持てます。

この映画の16ミリフィルム、銀座の松竹にしかけていって譲り受け、各地で上映会を行いました。20年位も前のことです。今も中央公民館にあります。

「スラギ」も映っています。そうそう、「スラギ」は、須崎海岸のことです。

編集後記

▼編集後記を書いている時点では大槌は雨が降り続き、肌寒く、夏とは思えない天気が続いています。暑過ぎるのもどうかと思いますが、寒過ぎるのもどうかと思います。この「広報おつち」8月5日号が皆様の手に届く頃にはちよつどいい暑さの夏になっているといいですね。（白野）

▼「ふるさと科」の一環として吉里吉里中学校で行われた郷土芸能発表会を取材させて頂きました。大槌の伝統芸能を見事に演じていたと思います。このような取り組みを通して、一人でも多くの生徒が大槌を好きになってくれることを期待しています。（花石）

▼小中一貫教育の導入に関連した「ふるさと科」の姿が徐々に見えてきました。ふるさとに誇りを持つ。その誇りを復興のバネにする。学校という「聖域」を超えた、地域ぐるみの取り組みです。様々な壁を乗り越え、大きく花開くことを願っています。（但木）



戦前の大槌町役場発行の「大槌町鳥瞰図」より、「洲崎海水浴場」部分
昭和8（1933）年の昭和三陸大津波の後、吉里吉里地区で復興を支えた愛媛県今治市出身の医師、有田謙一氏（1880～1945）が所有していた資料より

（大槌町教育委員会事務局生涯学習課長 佐々木健）

広報

大槌

No.564

広報おつち 8月5日号

発行 岩手県上閉伊郡大槌町 / 編集 総合政策課

TEL 0193-42-2111 FAX 0193-42-3855

〒028-1192 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3/印刷 (株)東海印刷所